

# 平成29年度 原子力施設における事故・故障等発生時の 通報連絡訓練の実施結果について

平成30年1月16日  
茨城県生活環境部防災・危機管理局  
原子力安全対策課

## 1 訓練の目的

本訓練は、原子力施設において「火災事故」又は「放射性物質の異常放出」が発生した場合に備えた迅速な通報連絡及び的確な初期対応体制の確保を目的とする。

## 2 実施対象

原子力安全協定締結全18原子力事業所

## 3 参加・協力機関

### (1) 茨城県 (2)

原子力安全対策課, 防災・危機管理課

### (2) 茨城県警察本部 (5)

警備課, 水戸警察署, ひたちなか警察署, 那珂警察署, 鉾田警察署

### (3) 関係市町村 (13)

東海村, 大洗町, ひたちなか市, 那珂市, 鉾田市, 日立市, 常陸太田市, 水戸市, 茨城町, 城里町, 常陸大宮市, 笠間市, 小美玉市

### (4) 関係消防本部等 (5)

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部, 大洗町消防本部, 那珂市消防本部, 鹿行広域事務組合消防本部, いばらき消防指令センター

### (5) 国関係機関 (3)

原子力規制庁総務課事故対処室, 東海・大洗原子力規制事務所, 総務省消防庁特殊災害室・応急対策室

### (6) 原子力安全協定締結事業所 (18)

### (7) 原子力事業所安全協力協定 (東海NOAH協定) 事務局

## 4 実施期間

平成29年7月31日から平成29年9月26日まで

## 5 訓練想定

(1) 原子力施設管理区域内において火災事故が発生し、放射性物質の環境への放出のおそれがある。(以下「火災事故」という。)

(2) 原子力施設から放射性物質の異常な放出があり、環境への影響のおそれがある。(以下「異常放出事故」という。)

※ いずれも原子力災害対策特別措置法第10条の対象事象には進展せずに収束するものとする。

## 6 訓練項目

### (1) 初期対応訓練

- 現場確認及び関係職員の招集
- 事故対策本部活動
- 消火活動，漏えい拡大防止活動
- 放射線モニタリング
- 広報活動
  - ・ 模擬記者会見の準備（記者会見要員の指名・派遣等，関係機関との記者会見時間の調整，記者会見資料の作成）
  - ・ 模擬記者会見の実施
  - ・ 模擬記者会見に係る関係機関への連絡

### (2) 通報連絡訓練

- 第1報～第4報（電話及びファクシミリ）の実施

### (3) 情報提供体制（重要訓練事項）

- 関係機関に対する通報連絡の確実な実施
- 的確な広報活動の実施

## 7 訓練実施

訓練日時及び発災想定施設について，原子力事業所に対し事前に通知せず，訓練当日，県の通告により抜き打ちで実施した。

## 8 実施内容

### (1) 訓練想定及び開始時間帯【資料－1 参照】

【表1 訓練想定及び開始時間帯】

	[火災事故] 13事業所	[異常放出事故] 5事業所
勤務時間外（平日朝）	1	0
勤務時間内（平日昼）	10	2
勤務時間外（平日夜）	2	2
勤務時間外（休日）	0	1

※ 表中の数字は事業所数。以下同じ。

### (2) 東海NOAH協定への協力要請訓練；4回【資料－2 参照】

## 9 実施結果

### (1) 初期対応訓練の実施状況

#### ① 事故発生時の現場確認時間及び関係職員の招集等【資料－3参照】

- 1) 現場確認までの所要時間について(表2 参照)
  - ・ 火災事故にあつては、時間内、時間外ともに平均7分であつた。
  - ・ 異常放出事故にあつては、時間内では平均14分、時間外では平均37分であつた。
- 2) 関係職員の招集について(表3 参照)
  - ・ 所内一斉放送や自動音声による職員携帯電話への一斉発信などが活用され、平均で7分以内に通報が開始され、迅速に職員の招集が行われていた。

【表2 事故発生時の現場確認時間】

訓練開始からの経過時間(分)	事業所数			
	火災事故		異常放出事故	
	時間内	時間外	時間内	時間外
5未満	2	1	1	1
5～10未満	5	1	0	0
10～20未満	3	1	0	0
20以上	0	0	1	2
訓練開始からの経過時間(分)				
最短	2	1	1	7
最長	12	10	27	68
平均	8	7	14	37
〔備考〕 火災事故； 施設内部への立入時間(監視カメラ等を用いた現場確認を含む) 異常放出事故； 放射線モニタの結果または施設内部への立入により想定場所を特定した時間				

【表3 関係職員への通報開始時間】

訓練開始からの経過時間(分)	事業所数	
	時間内	時間外
5未満	5	1
5～10未満	5	1
10～20未満	2	4
20以上	0	0
訓練開始からの経過時間(分)		
最短	0	2
最長	14	16
平均	6	9

② 事故対策本部等における活動状況

- ・ 事故対策本部組織等の設置については、平均で13分以内に実施されており、概ね迅速に実施された。(表4 参照)
- ・ 全事業所において、本部長またはあらかじめ指名していた代理者を中心に役割分担が決められており、本部が機能していた。
- ・ 各事業所において、本部での情報共有手段(ホワイトボード、プロジェクターによる表示、所内アナウンス等)が工夫されており、情報共有が図られていた。

【表4 事故対策本部組織設置時間】

訓練開始からの経過時間(分)	事業所数	
	時間内	時間外
5未満	2	0
5～10未満	4	2
10～20未満	4	2
20～30未満	1	1
30以上	0	1
訓練開始からの経過時間(分)		
最短	3	5
最長	22	66
平均	10	20

③ 消火活動、放出拡大防止活動

- ・ 火災事故発生時の自衛消防隊等の出動時間または、異常放出事故発生時の放出拡大防止活動開始時間については、通告(事象発生)から時間内にあつては最長26分、時間外にあつては最長55分であった。(表5 参照)

【表5 自衛消防隊の出動時間又は異常放出拡大防止活動の開始時間】

訓練開始からの経過時間(分)	事業所数			
	[火災事故] 自衛消防隊の出動		[異常放出事故] 拡大防止活動の開始	
	時間内	時間外	時間内	時間外
5未満	2	1	0	0
5～10未満	3	0	0	0
10～20未満	5	2	1	1
20以上	0	0	1	2
訓練開始からの経過時間(分)				
最短	1	3	12	12
最長	14	11	26	55
平均	9	8	19	33

- ④ 放射線モニタリング
- ・ 全事業所において、発災施設内外や事業所敷地周辺の空間線量率など必要なモニタリングが迅速に実施され、周辺環境への影響把握等がなされていた。

⑤ 広報活動訓練の実施状況（重点訓練項目）

- ・ 全事業所において、事業所内での模擬記者発表訓練を実施した。

1) 県、プレス幹事社との連絡調整【資料－4 参照】

- ・ 記者発表の実施にあたり、全事業所において、事前に県との連絡調整及びプレス幹事社（想定）との調整が実施されていた。

2) 記者発表要員の事業所出発（想定）時間及び記者発表開始予定時間

【資料－4 参照】

- ・ 事業所出発（想定）時間の平均は時間内が42分、時間外が57分であった。
- ・ 記者発表開始予定時間の平均は時間内が136分、時間外が146分であった。（表－6参照）

※ 事業所出発から発表開始予定時刻までの時間はおよそ90分であり、事業所から県庁までの移動にかかる時間及び県庁到着後、県に説明する時間（約30分）を考慮すると妥当な時間であった。

【表6 記者発表要員事業所出発時間及び記者発表開始予定時間】

訓練開始からの経過時間（分）	事業所数			
	事業所出発（想定）時間		記者発表開始予定時間	
	時間内	時間外	時間内	時間外
30未満	5	1	0	0
30～60未満	5	2	0	0
60～90未満	2	2	0	0
90～120未満	0	0	0	1
120～150未満	0	1	12	4
150以上	0	0	0	1
	訓練開始からの経過時間（分）		訓練開始からの経過時間（分）	
最短	14	14	123	112
最長	86	120	148	210
平均	42	57	136	146

3) 記者発表実施体制【資料－5 参照】

- ・ 派遣要員については、いずれの事業所においても施設及び技術面に熟知した者、対外的に発言のできる立場の要員が選任されていた。

4) 発表内容等【資料－6－1，6－2 参照】

- ・ 全ての事業所において、記者発表文が作成され、記者発表時に配布された。
- ・ 記者発表文は、発生日時や場所、事象の概要、環境への影響等、主要な項目について記載がなされており、概ね適切な内容であった。

※ 環境への影響、負傷者・被ばく者の有無、発災施設における事業内容、発災時の施設の稼働状況、発災による施設への影響や現状等について、説明することが望ましい。

- ・ 事象の概要の説明において、「火災」の想定では、119番通報の時刻や延焼面積、「放射性物質の異常放出」の想定では、放出された放射性物質の濃度や量が記載されていた。
- ※ 事象の全体像を把握できるように、発災状況について説明することが望ましい。
- ・ 環境への影響について、空間線量率等測定値等を記載しているほか、通常の測定値等と比較している事例がみられた。
- ※ 環境への影響をわかりやすく説明するため、測定値を記者発表文に記載する、または記者発表時に説明できることが望ましい。また、通常の測定値や法令値等と比較するなど、その測定値の意味合いを説明することにより、環境への影響について正確に伝わるよう工夫することが望まれる。
- ・ 記者発表文の添付資料として、事業所位置図、発災施設平面図や発災現場写真のほか、会社や発災施設の概要が説明できる資料が添付されていた。
- ※ 添付資料については、事業所の位置図のほか、発災状況をわかりやすく説明するため、核物質防護上支障のない範囲で敷地内建屋配置図、発災施設の平面図、放射線測定位置図、発災現場写真等を添付することが望ましい。(表7 参照)

【表7 記者発表資料の添付資料】

添付資料の内容	事業所数
事業所位置図	12
敷地内建屋配置図 (発災施設図示)	16
放射線測定位置図 (測定結果含む)	6
発災施設平面図	11
発災現場写真	6
会社・発災施設等概要 <sup>*1</sup>	11
その他 <sup>*2</sup>	4

※1 会社・発災施設概要パンフレット、発災設備概略図等

※2 排気系統図、排気モニタ測定値グラフ

## (2) 通報連絡訓練の実施状況【資料-7-1, 7-2, 8 参照】

### ① 通報連絡全般

- ・ 関係機関への第1報から第4報に至る連絡（電話及びFAX）は、全ての事業所で実施された。
- ・ なお、一部の事業所において、関係機関のFAX番号が未更新であった事例がみられたが、電話によるFAXの着信確認により事態を把握し、再送信がなされていた。
- ※ 日頃から連絡先に変更等がないか確認するとともに、送信漏れがないようにFAXの受信確認を徹底していただきたい。

### ② 第1報通報時間

- ・ 事故想定を火災とした13事業所における119番通報は、全ての事業所において時間外に実施した事業所を含め概ね迅速に行われた。(表8 参照)
- ※ 119番通報時、事業所の住所や発災施設における放射性物質の取扱いの有無について説明することが望ましい。

- ・ 勤務時間内に訓練を実施した12事業所については、平均14分で関係機関への第1報通報（電話またはFAX。消防本部等への119番通報を除く。）を開始しており、概ね迅速に通報連絡がなされた。（表9-1参照、詳細については資料7-2参照）
- ・ 勤務時間外に訓練を実施した6事業所については、平均20分で関係機関への第1報通報を開始しており、概ね迅速に通報連絡がなされた。（表9-2参照）

【表8 所轄消防本部等への119番通報に要した時間（火災事故）】

訓練開始からの経過時間（分）	時間内	時間外
5未満	5	3
5～10未満	4	0
10～20未満	1	0
20以上	0	0
訓練開始からの経過時間（分）		
最短	1	1
最長	13	4
平均	5	3

【表9-1 勤務時間内に実施した訓練における関係機関（119番通報を除く）への第1報通報開始時間】

訓練開始からの経過時間（分）	事業所数	備考
10未満	3	最短；3分 最長；22分 平均；14分
10～15未満	3	
15～20未満	4	
20～30未満	2	
30以上	0	

【表9-2 勤務時間外に実施した訓練における関係機関（119番通報を除く）への第1報通報開始時間】

訓練開始からの経過時間（分）	事業所数	備考
10未満	0	最短；11分 最長；53分 平均；20分
10～15未満	5	
15～20未満	0	
20～30未満	0	
30以上	1	

③ 通報連絡内容に係る状況

- ・ FAXによる送付文に必要な情報を記載し、電話にて内容説明がなされた。（表10参照）
- ※ 環境への影響は重要な情報であり、具体的な測定値とともに速やかに通報することが望ましい。

※ 的確な通報連絡のため、必ずFAX送付文の着信確認並びに内容の説明を実施するとともに、第2報以降においては、前報からの変更点や要点について重点的に説明することが望ましい。

※ 事象の全体像を把握出来るよう発災現場の写真や、発災施設における事業内容などがわかる資料を核物質防護上支障のない範囲で添付することが望ましい。また、写真等、FAXにより見えにくくなる資料は、別途、電子メールでの送信を検討することが望ましい。

【表10 FAXによる送付文における添付資料及びその連絡時期】

所要時間（分）	事業所数			
	第1報	第2報	第3報以降	なし
事業所位置図	14	2	0	2
敷地内建屋配置図	16	2	0	0
放射線測定位置図	5	11	1	1
発災施設概要等 (発災施設平面図を含む)	6	9	2	1

※ 敷地内建屋配置図、発災施設の概要等は、通報の受け手側が事故状況を正確に把握する上で有効であり、可能な限り早い段階で送付されることが望ましい。また、事業所位置図も重要な情報であることから、可能な限り添付されることが望ましい。

### (3) 外部からの問合せ対応【資料-8 参照】

- ・ FAX送信文に記載の連絡先への問合せに対する回答は、全ての事業所において実施された。

## 10 良好事例【資料-9 参照】

### (1) 初期対応訓練

- ・ 事故対策本部の活動において、排気モニタ指示値の目安をまとめた一覧表を用いることにより、法令報告事象への該当の有無等、発災状況の速やかな把握に努めていた。
- ・ 現場活動において、現場での活動項目をまとめた表を用いて、活動内容の流れを確認するとともに、活動状況を表に記録しており、手順等を確認しながら活動していた。
- ・ 広報活動において、速やかな記者発表の実施に備え、記者発表要員が記者発表実施決定より前に、事業所を出発していた。

### (2) 通報連絡訓練

- ・ FAX送信文の内容を担当者間で読み合わせるにより、内容に対する認識を共有していたほか、外部からの問合せについて、質問並びにその回答を記録票に整理し、適切な情報発信に努めていた。



## 1.1 事業所内における課題抽出事例

各事業所において、訓練終了後、自ら初期対応や通報連絡における課題の抽出並びに改善策の検討を行っている。抽出された課題並びに改善策について、主なものは以下のとおり。

### (1) 初期対応訓練

- ・ 公設消防への火災発生現場の説明に時間を要したことから、被ばくのリスク、危険物の有無や初期消火の状況等の重要な点に絞り、その他は質問への回答とすることにより、迅速な報告を図る。
- ・ 勤務時間外であり、要員が参集するまでの間、FAX送信等に時間を要したことから、参集人数が少ない状況でも迅速に対応できるようFAX送信等の要素訓練を行う。

### (2) 通報連絡訓練

- ・ 周辺地域における放射線の影響について、放射性物質の放出量と法令値の関係などを改めて整理するとともに、「放射線被ばくの早見図」等を用いるなど、住民の目線を意識し、わかりやすい情報発信に努める。
- ・ 写真をFAXで送信した際、不鮮明になることから、電子メールでの送信や図などでの説明を検討する。

## 1.2 まとめ

### (1) 初期対応訓練の実施状況

- ・ 現場確認及び関係職員の招集等、事故対策本部における活動状況及び放射線モニタリングの実施状況については、全体として概ね良好な結果であった。
- ・ 記者発表にあたっては、発災状況、発災施設の概要や環境への影響等について説明を行うとともに、記者会見文に図面等の参考資料を積極的に活用することにより、正確かつわかりやすい広報に努めることが望まれる。

### (2) 通報連絡訓練の実施状況

- ・ 第1報については勤務時間外に訓練を実施した事業所を含め、概ね迅速に行われた。
- ・ FAXの送信にあたり、日頃から連絡先に変更等がないか確認するとともに、送信漏れがないようにFAXの受信確認を徹底することが望まれる。

### (3) 良好事例

今回の訓練において、初期対応や通報連絡を実施するにあたり、複数の良好事例が確認された。各事業所において、他事業所の良好事例を参考にして、更なる体制の強化が図られることが望まれる。

## 平成29年度 通報連絡訓練実施内容一覧

No.	事業所名	所在	実施日時	時間帯	発災施設(設備)名	発災事象	通報先件数	NOAHへの通報	訓練に同行した市町村
1	日本核燃料開発株式会社	大洗町	7月31日(月) 14:00～	平日昼	ウラン燃料研究棟 1階 成型焼結室	火災	19	—	大洗町, 銚田市, 茨城町
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	東海村	8月3日(木) 18:00～	平日夜 時間外	放射性廃棄物処理場 減容処理棟 プラズマ熔融室	火災	18	—	東海村, 日立市, 那珂市
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	東海村	8月4日(金) 9:30～	平日昼	第2管理棟 1階 204室	火災	16	○	東海村, 日立市
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	東海村	8月7日(月) 9:30～	平日昼	ライナック棟 クライストロンパルサー室	火災	16	○	東海村
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	那珂市	8月18日(金) 14:30～	平日昼	JT-60廃棄物保管棟 分析室 I	火災	14	—	那珂市, 東海村
6	三菱原子燃料株式会社	那珂市 ・東海村	8月21日(月) 13:00～	平日昼	転換工場 排気塔	放出	17	○	那珂市, 東海村
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	東海村	8月25日(金) 10:00～	平日昼	第1実験棟 1階 111室	火災	14	—	東海村
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	東海村	8月30日(水) 8:00～	平日朝 時間外	東海第二発電所 廃棄物処理建屋 1階 雑固体焼却炉室	火災	18	—	東海村, 日立市, ひたちなか市, 那珂市
9	日揮株式会社 技術研究所	大洗町	8月31日(木) 10:30～	平日昼	第2研究棟 1階 2-101室	火災	12	—	大洗町
10	日本照射サービス株式会社 東海センター	東海村	9月5日(火) 10:00～	平日昼	電子線照射施設 照射室	火災	14	—	東海村
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	那珂市	9月7日(木) 13:00～	平日昼	開発試験棟第 I 棟 2階 R-21室	火災	14	○	那珂市, 東海村
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	東海村	9月9日(土) 8:30～	休日 時間外	高レベル放射性物質研究施設 (CPF) 排気筒	放出	18	—	東海村, 日立市, 那珂市
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	東海村	9月12日(火) 15:00～	平日昼	加工工場 排気口	放出	16	—	東海村
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	東海村	9月14日(木) 18:00～	平日夜 時間外	新分析棟 1階 アクチノイド分析室	火災	16	—	東海村
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	銚田市 ・大洗町	9月21日(木) 18:00～	平日夜 時間外	照射材料試験施設 (MMF)	放出	21	—	大洗町, 銚田市, ひたちなか市, 茨城町
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	東海村	9月22日(金) 13:30～	平日昼	第1試験棟 3階 試験室	火災	16	—	東海村
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	東海村	9月25日(月) 18:00～	平日夜 時間外	燃料ホットラボ施設 排気塔	放出	16	—	東海村
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	大洗町	9月26日(火) 14:00～	平日昼	アクチノイド元素実験棟 1階 グローブボックス室	火災	14	—	大洗町

【資料－２】

平成２９年度 原子力事業所安全協力協定(東海ノア協定)事務局の訓練内容

	実施日時	発災事業所 (事故想定)	訓練内容	通報の範囲
第１回	８月４日(金) ９時３２分～	JCO (火災)	<p>訓練事業所からの東海ノア事務局への協力要請を受け、東海ノア事務局は協定加盟全事業所へ一斉FAXにより協力要請を配信するとともに、通報担当事業所（４事業所）へ電話による通報連絡を実施。</p> <p>東海ノア事務局から通報を受けた通報担当事業所は、所轄加盟事業所に連絡。</p> <p>加盟事業所のうち、東海地区事業所は、活動本部要員を決定し、FAXにより東海ノア事務局（活動本部）へ報告。（活動本部招集は模擬）</p> <p>また、大洗地区事業所は二次招集活動本部員を決定し、FAXにより東海ノア事務局（活動本部）へ報告。</p>	協定加盟 18 事業所の通報連絡関係者等及び緊急事態活動本部員
第２回	８月７日(火) 10時10分～	東大 (火災)	訓練事業所からの協力要請を受信	原子力事業所安全協力協定事務局内
第３回	８月２１日(月) 13時03分～	三菱原燃 (異常放出)	訓練事業所からの協力要請を受信	原子力事業所安全協力協定事務局内
第４回	９月７日(木) 13時03分～	三菱 マテリアル (火災)	訓練事業所からの協力要請を受信	原子力事業所安全協力協定事務局内

## 平成29年度 通報連絡訓練の実施結果一覧表

(表中の時間は、訓練開始時刻からの経過時間(分間)を示す。)

No.	事業所名	通告時刻	時間帯	発災事象	通報先件数	事故現場確認時間	所轄消防等への通報時間※2	関係職員への通報開始時間	関係職員集合時間		自衛消防隊出動時間	異常放出拡大防止活動開始時間	事業所本部設置時間	現場指揮所設置時間	NOAHへの協力要請時間	招集人員(名) (A)	参集人員(名) (B)
									開始	完了							
1	日本核燃料開発株式会社	13:58	平日昼	火災	19	0:02	0:06 0:35	0:07	0:03	0:07	0:11	-	0:03	-	-	89	73
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	18:11	平日夜 時間外	火災	18	0:09	0:04 0:39	0:11	0:12	0:34	0:11	-	0:12	0:13	-	255	194
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	9:32	平日昼	火災	16	0:07	0:02 0:29	0:08	0:08	0:14	0:08	-	0:08	0:16	0:28	42	38
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	10:10	平日昼	火災	16	0:08	0:01 0:38	0:08	0:08	0:13	0:08	-	0:13	-	0:35	37	21
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	14:23	平日昼	火災	14	0:12	0:13 0:33	0:14	0:12	0:45	0:14	-	0:22	0:07	-	181	105
6	三菱原子燃料株式会社	13:03	平日昼	放出	17	0:01	- 0:21	0:01	0:01	0:12	-	0:12	0:05	0:16	0:13	236	137
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	10:03	平日昼	火災	14	0:06	0:01 0:30	0:07	0:07	0:12	0:12	-	0:07	-	-	89	65
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	8:08	平日朝 時間外	火災	18	0:10	0:04 0:25	0:16	0:16	0:28	0:11	-	0:22	0:15	-	145	116
9	日揮株式会社 技術研究所	13:44	平日昼	火災	12	0:08	0:08 0:42	0:08	0:08	0:13	0:13	-	0:14	-	-	39	30
10	日本放射サービス株式会社 東海センター	9:57	平日昼	火災	14	0:04	0:01 0:37	0:01	0:05	0:14	0:05	-	0:08	0:18	-	39	29
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	13:03	平日昼	火災	14	0:05	0:05 0:11	0:01	0:01	0:05	0:01	-	0:04	0:04	0:08	35	32
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	8:30	休日 時間外	放出	18	1:08	- 1:34	0:11	0:25	1:50	-	0:55	1:06	0:40	-	199	131
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	14:57	平日昼	放出	16	0:27	- 0:48	0:04	0:04	0:07	-	0:26	0:07	-	-	101	82
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	18:18	平日夜 時間外	火災	16	0:01	0:01 0:37	0:02	0:03	0:59	0:03	-	0:05	-	-	65	52
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	18:10	平日夜 時間外	放出	21	0:36	- 0:30	0:10	0:10	0:46	-	0:32	0:10	0:10	-	225	139
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	13:32	平日昼	火災	16	0:11	0:03 0:27	0:14	0:00	0:23	0:03	-	0:13	-	-	26	26
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	17:58	平日夜 時間外	放出	16	0:07	- 0:56	0:06	0:03	0:57	-	0:12	0:06	0:02	-	87	64
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	14:13	平日昼	火災	14	0:12	0:09 0:33	0:00	0:00	0:07	0:10	-	0:19	-	-	23	23
平均						※1	※3	0:07	0:07	0:28	0:08	0:27	0:13	0:14	0:21	106	75

※1 事故現場確認時間の平均：放出5事業所 28分、火災13事業所 7分 ※2 上段：119番通報時間、下段：第1報着信確認時間 ※3 119番：平均4分、第1報着信確認：平均37分

## 平成29年度 通報連絡訓練における記者発表の実施結果一覧表

(表中の時間は、訓練開始時刻からの経過時間(分間)を示す。)

No.	事業所名	発災事象	記者発表時刻の調整		発表時刻の連絡	派遣要員の人数(名)	事業所本部設置時間	派遣要員の事業所出発(想定)時間	本部設置から派遣要員の事業所出発(想定)時間	記者発表開始予定時間
			県	幹事社						
1	日本核燃料開発株式会社	火災	0:38	0:41	0:44	5	0:03	0:42	0:39	2:12
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	火災	0:48	0:54	0:56	5	0:12	1:04	0:52	2:19
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	火災	1:03	1:16	1:25	3	0:08	0:56	0:48	2:28
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	火災	0:55	0:57	0:59	1	0:13	0:20	0:07	2:20
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	火災	0:57	1:00	1:02	4	0:22	1:26	1:04	2:27
6	三菱原子燃料株式会社	放出	0:26	0:34	0:37	6	0:05	0:27	0:22	2:27
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	火災	1:25	1:27	1:29	2	0:07	0:17	0:10	2:27
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	火災	0:27	0:52	1:07	2	0:22	0:14	△0:08	1:52
9	日揮株式会社 技術研究所	火災	0:48	0:52	0:56	2	0:14	1:16	1:02	2:16
10	日本照射サービス株式会社 東海センター	火災	1:04	1:10	1:12	3	0:08	0:39	0:31	2:03
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	火災	0:37	1:07	1:11	2	0:04	0:14	0:10	2:12
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	放出	2:12	2:22	2:23	4	1:06	2:00	0:54	3:30
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	放出	0:58	1:03	1:09	4	0:07	0:28	0:21	2:03
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	火災	0:47	0:53	0:55	3	0:05	0:32	0:27	2:12
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	放出	0:50	0:53	0:55	4	0:10	1:21	1:11	2:20
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	火災	0:55	1:10	1:11	3	0:13	0:59	0:46	2:28
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	放出	1:10	1:13	1:15	3	0:06	0:32	0:26	2:22
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	火災	0:43	0:54	0:55	2	0:19	0:42	0:23	1:47
平均			0:55	1:04	1:07	3	0:13	0:47	0:33	2:19

## 平成29年度 通報連絡訓練における記者発表の実施体制

No.	事業所名	人数	内訳
1	日本核燃料開発株式会社	5	施設全体の熟知者（取締役），発災施設の熟知者（発災施設担当グループリーダー），進行役，連絡役・議事録作成：2名
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	5	発災施設の熟知者（担当課マネージャー，担当課技術副主幹）2名，進行役他：3名
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	3	施設全体の熟知者（担当課長），応援者
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	1	施設全体の熟知者（准教授）
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	4	施設全体の熟知者（担当部次長），発災施設の熟知者（発災施設担当グループ技術主幹），進行役他：2名
6	三菱原子燃料株式会社	6	施設全体の熟知者（執行役員）1名，発災施設の熟知者（施設・設備担当者，放射線安全担当者）2名，進行役他3名
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	2	施設全体の熟知者（副本部長）：2名
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	2	施設全体の熟知者（発電所次長），進行役
9	日揮株式会社 技術研究所	2	施設全体の熟知者（グループリーダー）：2名
10	日本照射サービス株式会社 東海センター	3	施設全体の熟知者（所長），発災施設の熟知者（施設・設備担当部長），広報担当者
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	2	発災施設の熟知者（発災施設担当グループリーダー，発災施設担当グループ副主任研究員）
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	4	施設全体の熟知者（発災施設担当部長，発災施設担当課主査）：2名，放射線管理担当者，進行役
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	4	施設全体の熟知者（対策本部副本部長，担当グループ長）：2名，進行役，記録
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	3	施設全体の熟知者（担当部長，技術主席）：2名，発災施設の熟知者（担当課主査）
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	4	施設全体の熟知者（担当部次長，安全管理担当部次長）：2名，広報担当：2名
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	4	施設全体の熟知者（担当課長，担当グループ主任，担当部長）
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	3	施設全体の熟知者（担当リーダー），発災施設の熟知者（担当室長），進行役
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	2	施設全体の熟知者（担当准教授）：2名

平成29年度 通報連絡訓練における記者発表文の記載内容

No.	事業所名	発災事象	発生日時	発生場所(発災施設名等)	発災事象	「火災」の場合		「放出」の場合		発災時の状況(施設の運転状況等)	発災原因(「調査中」を含む)	経過(時系列等)	事故による施設への影響	環境への影響		負傷者・被ばく者の有無	問合せ先	その他・備考
						延焼面積	119番通報時刻	放出濃度(モニタ指示値等)	放出量					影響の有無	測定結果			
1	日本核燃料開発株式会社	火災	○	○	○						○	○		○		○	○	
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	火災	○	○	○	○				○	○	○		○	○※	○	○	※添付資料に掲載
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	火災	○	○	○	○					○	○		○	○	○	○	
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	火災	○	○	○	○					○	○		○		○	○	
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	火災	○	○	○	○	○				○	○		○		○	○	
6	三菱原子燃料株式会社	放出	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	火災	○	○	○	○					○	○		○	○	○	○	
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	火災	○	○	○		○			○	○	○		○		○	○	
9	日揮株式会社 技術研究所	火災	○	○	○	○					○	○		○	○	○	○	
10	日本照射サービス株式会社 東海センター	火災	○	○	○		○				○	○		○	○	○	○	
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	火災	○	○	○	○				○	○	○		○	○※	○	○	※添付資料に掲載
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	放出	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		○	○	
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	放出	○	○	○			○			○	○		○		○	○	周辺における被ばく線量評価
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	火災	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○	○	
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	放出	○	○	○			○			○	○		○	○※		○	※添付資料に掲載
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	火災	○	○	○						○	○		○	○	○	○	
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	放出	○	○	○			○		○	○	○	○	○		○	○	
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	火災	○	○	○						○	○		○		○	○	

## 平成29年度 通報連絡訓練における記者発表文の項目及び添付資料

No.	事業所名	記者発表文 項目	添付資料						その他
			事業所 位置図 (所在案内)	敷地内建 屋配置図 (発災施設図示)	放射線測 定位置図 (測定結果含む)	発災施設 平面図	発災現場 写真	会社・ 発災施設 等概要 (パンフレット等)	
1	日本核燃料開発株式会社	1 発生日時, 2 発生場所, 3 状況 ((1)概要, (2)原因, (3)環境への影響等)		○		○		○	
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	1 発生日時, 2 発生場所, 3 状況, 4 原因, 5 影響	○	○	○	○	○	○	
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	1 事故発生場所, 2 発災施設名, 3 発生日時, 4 事故の様態, 5 現時点で考えられる原因, 6 負傷者・被ばく者の有無・状況, 7 周辺環境への影響, 8 措置の状況, 9 その他	○	○		○			
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	1 件名, 2 発生日時, 3 発生場所, 4 施設名, 5 状況, 6 原因, 7 影響					○		
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	1 発生日時, 2 発生場所, 3 発生状況, 4 環境への影響, 5 従業員への影響, 6 原因	○	○		○	○		
6	三菱原子燃料株式会社	1 発生日時, 2 発生場所, 3 概要, 4 環境への影響, 5 発生原因等 ※「3 概要」に時系列を記載	○	○	○	○		○	排気系統図
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	1 発生日時, 2 発生場所, 3 施設名, 4 状況, 5 原因, 6 環境への影響, 7 汚染・被ばくの有無, 8 問合せ先, 9 添付資料	○	○		○		○	
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	1 原子炉施設等の状況, 2 周辺環境への放射能の影響, 3 今後の対応		○		○	○		
9	日揮株式会社 技術研究所	1 発災日時, 2 発災場所, 3 状況 (原因, 規模, 消失物, 負傷者, 被ばく者, その他), 4 発災による施設外への影響, 5 備考							
10	日本照射サービス株式会社 東海センター	1 発生日時, 2 事故発生場所, 3 発災施設名, 4 事故の様態, 5 現時点で考えられる原因, 6 周辺環境への影響, 7 負傷者・被ばく者の有無・状況, 8 措置の状況	○	○	○			○	
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	1 事業所 (事業所名, 所在地, 代表者), 2 発生場所, 3 発生時刻, 4 経緯, 5 人的被害等の状況及び周辺への影響, 6 原因・状況, 7 問合せ先	○	○	○	○		○	
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	1 発生日時, 2 発生場所, 3 状況, 4 原因, 5 施設への影響, 6 環境への影響, 7 従業員への影響		○				○	排気系統図, 排気モニタ測定値グラフ
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	1 発生日時, 2 発生場所, 3 経過, 4 原因, 5 周辺環境への影響, 6 作業員への影響	○	○	○			○	排気系統図
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	1 発生日時, 2 発生場所, 3 状況 (概要, 人及び周辺への影響, 原因)	○	○		○	○	○	
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	1 発生日時, 2 発生場所, 3 状況, 4 原因, 環境への影響		○	○			○	排気系統図, 排気モニタ測定値グラフ
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	1 発生日時, 2 事故発生場所, 3 発災施設名, 4 事故の様態, 5 原因, 6 環境への影響, 7 負傷者・被ばく者の有無・状況, 8 措置の状況	○	○	○	○			
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	1 発生日時, 2 発生場所, 3 施設名, 4 状況, 5 原因, 6 環境への影響, 7 施設の安全性	○	○		○		○	
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	1 発生日時, 2 発生場所, 3 施設名, 4 概要, 5 環境への影響, 6 作業員への影響, 7 原因 (推定), 8 再発防止策	○	○	○			○	



平成29年度 通報連絡訓練における受信者からの報告による通報受信状況一覧表

No.	事業所名	通告時刻	時間帯	発災事象	通報先件数※1	第1報			第2報			第3報			第4報			専用回線電話使用の有無														
						FAX			電話※2			FAX			電話			FAX			電話			県	消防本部							
						最短受信	最長受信	実施状況	最短受信	最長受信	実施状況	最短受信	最長受信	実施状況	最短受信	最長受信	実施状況	最短受信	最長受信	実施状況	最短受信	最長受信	実施状況			最短受信	最長受信	実施状況				
1	日本核燃料開発株式会社	13:58	平日昼	火災	19	0:19	0:23	○	0:09	0:16	○	0:33	0:37	○	0:50	0:56	○	0:51	0:57	○	1:04	1:10	○	1:17	1:22	○	1:36	1:45	○	有	-	
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	18:11	平日夜 時間外	火災	18	0:17	0:21	○	0:11	0:31	○	0:19	0:41	○	0:59	1:11	○	1:17	1:22	○	1:17	1:36	○	1:45	1:58	○	1:58	2:19	○	有	有	
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	9:32	平日昼	火災	16	0:22	0:28	○	0:12	0:32	○	0:44	0:58	○	0:54	1:06	○	1:09	1:18	○	1:17	1:27	○	1:31	1:43	○	1:43	1:55	○	有	無	
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	10:10	平日昼	火災	16	0:30	0:38	○	0:18	0:43	○	0:54	1:01	○	0:58	1:08	○	1:14	1:20	○	1:18	1:28	○	1:28	1:32	○	1:32	1:41	○	有	有	
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	14:23	平日昼	火災	14	0:22	0:28	○	0:28	0:43	○	0:41	0:48	○	0:49	1:33	○	0:55	1:02	○	1:04	1:12	○	1:28	1:36	○	1:33	1:43	○	有	有	
6	三菱原子燃料株式会社	13:03	平日昼	放出	17	0:17	0:21	○	0:03	0:22	○	0:49	0:54	○	0:47	1:02	○	1:22	1:33	○	1:26	1:39	○	2:11	2:24	○	2:17	2:26	○	有	有	
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	10:03	平日昼	火災	14	0:25	0:32	○	0:15	0:36	○	0:39	0:44	○	0:44	0:58	○	1:16	1:21	○	1:20	1:31	○	1:32	1:46	○	1:36	1:55	○	有	無	
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	8:08	平日朝 時間外	火災	18	0:20	0:30	○	0:12	0:41	○	0:46	0:54	○	0:52	1:07	○	1:04	1:15	○	1:09	1:22	○	1:14	1:22	○	1:25	1:38	○	有	無	
9	日揮株式会社 技術研究所	13:44	平日昼	火災	12	0:28	0:44	○	0:20	0:29	○	0:39	0:52	○	0:46	1:02	○	1:01	1:11	○	1:11	1:22	○	1:30	1:46	○	1:37	1:55	○	有	-	
10	日本放射サービス株式会社 東海センター	9:57	平日昼	火災	14	0:21	0:28	○	0:12	0:20	○	0:42	0:47	○	0:50	0:55	○	0:50	1:01	○	1:08	1:15	○	1:16	1:23	○	1:27	1:37	○	有	無	
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	13:03	平日昼	火災	14	0:21	0:27	○	0:09	0:22	○	0:33	0:38	○	0:19	0:50	○	0:46	0:52	○	0:51	1:12	○	1:09	1:15	○	1:15	3:14	○	有	無	
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	8:30	休日 時間外	放出	18	0:53	0:57	○	1:21	1:38	○	1:49	1:56	○	2:05	2:19	○	2:35	2:43	○	2:46	2:55	○	3:15	3:23	○	3:23	3:43	○	有	無	
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	14:57	平日昼	放出	16	0:36	0:45	○	0:18	0:25	○	0:50	1:04	○	1:07	1:17	○	1:10	1:22	○	1:28	1:45	○	1:37	1:55	○	1:56	2:12	○	有	有	
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	18:18	平日夜 時間外	火災	16	0:24	0:29	○	0:12	0:16	○	0:35	0:38	○	0:43	0:52	○	0:57	1:05	○	1:07	1:13	○	1:51	2:01	○	2:04	2:13	○	有	有	
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	18:10	平日夜 時間外	放出	21	0:19	0:27	○	0:19	0:34	○	1:08	1:23	○	1:14	1:25	○	1:39	1:48	○	1:43	1:53	○	2:03	2:34	○	2:10	2:39	○	有	-	
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	13:32	平日昼	火災	16	0:14	0:23	○	0:13	0:32	○	0:44	0:54	○	0:48	1:00	○	1:05	1:08	○	1:10	1:19	○	1:33	1:41	○	1:40	1:53	○	有	無	
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	17:58	平日夜 時間外	放出	16	0:51	0:57	○	0:12	0:33	○	1:01	1:07	○	1:12	1:32	○	1:10	1:15	○	1:29	1:48	○	1:52	2:05	○	1:59	2:12	○	無	有	
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	14:13	平日昼	火災	14	0:29	0:35	○	0:16	0:27	○	0:48	0:55	○	0:50	0:59	○	1:02	1:09	○	1:06	1:12	○	1:37	2:05	○	1:39	2:13	○	有	-	
平均						0:26	0:32	/	0:17	0:33	/	0:47	0:56	/	0:55	1:10	/	1:11	1:19	/	1:19	1:31	/	1:40	1:52	/	1:49	2:10	/	/	/	/

※1 通報先件数は、実施要領において通報することとされている機関（いばらき消防指令センターを除く）の合計数であり、事業所が独自に通報をした機関の数は含まない。 ※2 119番通報は除く。  
○：全て実施されたもの

【資料－7－2】

平成29年度 通報連絡訓練における受信者からの報告による第1報受信状況一覧表

経過時間(分)

No.	事業所名	第1報までの所要時間※1		発災 事象	時間帯		
		FAX	電話※2				
1	日本核燃料開発株式会社	通告時刻	最短	0:19	0:09	火災	平日昼
		13:58	最長	0:23	0:16		
			平均	0:19	0:12		
			現場確認時刻	最短	0:17		
		14:00	最長	0:21	0:14		
平均	0:17		0:10				
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	通告時刻	最短	0:17	0:11	火災	平日夜 時間外
		18:11	最長	0:21	0:31		
			平均	0:18	0:16		
			現場確認時刻	最短	0:08		
		18:20	最長	0:12	0:22		
平均	0:09		0:07				
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	通告時刻	最短	0:22	0:12	火災	平日昼
		9:32	最長	0:28	0:32		
			平均	0:24	0:18		
			現場確認時刻	最短	0:15		
		9:39	最長	0:21	0:25		
平均	0:17		0:11				
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	通告時刻	最短	0:30	0:18	火災	平日昼
		10:10	最長	0:38	0:43		
			平均	0:32	0:32		
			現場確認時刻	最短	0:22		
		10:18	最長	0:30	0:35		
平均	0:24		0:24				
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	通告時刻	最短	0:22	0:28	火災	平日昼
		14:23	最長	0:28	0:43		
			平均	0:23	0:36		
			現場確認時刻	最短	0:10		
		14:35	最長	0:16	0:31		
平均	0:11		0:24				
6	三菱原子燃料株式会社	通告時刻	最短	0:17	0:03	放出	平日昼
		13:03	最長	0:21	0:22		
			平均	0:17	0:15		
			現場確認時刻	最短	0:16		
		13:04	最長	0:20	0:21		
平均	0:16		0:14				

※1 △はマイナスを示し、現場確認時刻より前に通報したことを示す。 ※2 119番通報は除く。

【資料-7-2】

平成29年度 通報連絡訓練における受信者からの報告による第1報受信状況一覧表

経過時間(分)

No.	事業所名	第1報までの所要時間※1		発災 事象	時間帯		
		FAX	電話※2				
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	通告時刻	最短	0:25	0:15	火災	平日昼
		10:03	最長	0:32	0:36		
			平均	0:27	0:29		
			現場確認時刻	最短	0:19		
		10:09	最長	0:26	0:30		
平均	0:21		0:23				
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	通告時刻	最短	0:20	0:12	火災	平日朝 時間外
		8:08	最長	0:30	0:41		
			平均	0:22	0:29		
			現場確認時刻	最短	0:10		
		8:18	最長	0:20	0:31		
平均	0:12		0:19				
9	日揮株式会社 技術研究所	通告時刻	最短	0:28	0:20	火災	平日昼
		13:44	最長	0:44	0:29		
			平均	0:33	0:24		
			現場確認時刻	最短	0:20		
		13:52	最長	0:36	0:21		
平均	0:25		0:16				
10	日本照射サービス株式会社 東海センター	通告時刻	最短	0:21	0:12	火災	平日昼
		9:57	最長	0:28	0:20		
			平均	0:22	0:16		
			現場確認時刻	最短	0:17		
		10:01	最長	0:24	0:16		
平均	0:18		0:12				
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	通告時刻	最短	0:21	0:09	火災	平日昼
		13:03	最長	0:27	0:22		
			平均	0:12	0:13		
			現場確認時刻	最短	0:16		
		13:08	最長	0:22	0:17		
平均	0:17		0:08				
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	通告時刻	最短	0:53	1:21	放出	休日 時間外
		8:30	最長	0:57	1:38		
			平均	0:54	1:29		
			現場確認時刻	最短	△0:15		
		9:38	最長	△0:11	0:30		
平均	△0:14		0:21				

※1 △はマイナスを示し、現場確認時刻より前に通報したことを示す。 ※2 119番通報は除く。

【資料－7－2】

平成29年度 通報連絡訓練における受信者からの報告による第1報受信状況一覧表

経過時間(分)

No.	事業所名	第1報までの所要時間※1		発災 事象	時間帯		
		FAX	電話※2				
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	通告時刻	最短	0:36	0:18	放出	平日昼
		14:57	最長	0:45	0:25		
			平均	0:38	0:20		
			現場確認時刻	最短	0:09		
		15:24	最長	0:18	△0:02		
平均	0:11		△0:07				
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	通告時刻	最短	0:24	0:12	火災	平日夜 時間外
		18:18	最長	0:29	0:16		
			平均	0:25	0:13		
			現場確認時刻	最短	0:23		
		18:19	最長	0:28	0:15		
平均	0:24		0:12				
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	通告時刻	最短	0:19	0:19	放出	平日夜 時間外
		18:10	最長	0:27	0:34		
			平均	0:20	0:29		
			現場確認時刻	最短	△0:17		
		18:46	最長	△0:02	△0:09		
平均	△0:07		△0:16				
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	通告時刻	最短	0:14	0:13	火災	平日昼
		13:32	最長	0:23	0:32		
			平均	0:17	0:19		
			現場確認時刻	最短	0:03		
		13:43	最長	0:12	0:21		
平均	0:06		0:08				
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	通告時刻	最短	0:51	0:12	放出	平日夜 時間外
		17:58	最長	0:57	0:33		
			平均	0:53	0:24		
			現場確認時刻	最短	0:44		
		18:05	最長	0:50	0:26		
平均	0:46		0:17				
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	通告時刻	最短	0:29	0:16	火災	平日昼
		14:13	最長	0:35	0:27		
			平均	0:31	0:22		
			現場確認時刻	最短	0:17		
		14:25	最長	0:23	0:15		
平均	0:19		0:10				
平均		通告時刻からの 所要時間		0:27	0:25		
		現場確認時刻からの 所要時間		0:15	0:12		

※1 △はマイナスを示し、現場確認時刻より前に通報したことを示す。 ※2 119番通報は除く。

## 平成29年度 通報連絡訓練における連絡FAXの添付資料の内容・外部問合せの状況

No.	事業所名	発災事象	①事業所位置図 (所在案内)				②敷地内建家配置図 (発災施設図示)				③放射線測定位置図 (測定結果含む)				発災施設の概要等				その他の図等	外部問合せ	
			1報	2報	3報	4報	1報	2報	3報	4報	1報	2報	3報	4報	1報	2報	3報	4報		FAX記載の電話番号	回答実施状況
1	日本核燃料開発株式会社	火災	○	-	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	④	-	-	④⑤	④発災施設平面図 ⑤発災施設概要	○	○
2	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	火災	○	-	-	○	○	-	-	○	-	○	○	○	-	④	④	④⑤ ⑥	④発災施設平面図 ⑤現場写真 ⑥発災施設概要	○	○
3	株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所	火災	○	-	-	○	○	-	-	○	-	○	○	○	-	④	④	④	④発災施設平面図	○	○
4	国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	火災	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	④	⑤	⑤	④発災施設平面図 ⑤現場写真	○	○
5	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	火災	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	④	④	④⑤	④発災施設平面図 ⑤現場写真	○	○	
6	三菱原子燃料株式会社	放出	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-	④⑤ ⑥	④⑤ ⑥	④発災施設平面図 ⑤発災設備概略図 ⑥排気系統図	○	○
7	積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター	火災	○	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	④	④	④	④	④発災施設平面図,	○	○
8	日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所	火災	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	④	④	④発災施設平面図	○	○
9	日揮株式会社 技術研究所	火災	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	④	⑤	⑤	⑤	④発災施設平面図 ⑤ダストモニタ測定結果	○	○
10	日本放射サービス株式会社 東海センター	火災	○	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	④	④	④⑤	④発災施設平面図 ⑤会社概要	○	○
11	三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所	火災	○	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	④	④	④	④	④発災施設平面図	○	○
12	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	放出	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-	④⑤ ⑥	⑥	④⑤ ⑥⑦	④発災施設概要, ⑤排気系統図 ⑥排気ダスト測定値グラフ, ⑦発災設備概略図	○	○
13	原子燃料工業株式会社 東海事業所	放出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	④	④	④	④排気系統図	○	○	
14	公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター	火災	○	-	-	○	○	-	-	○	○	-	-	○	④	-	④⑤	④⑤	④発災施設平面図, ⑤現場写真	○	○
15	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	放出	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	④⑤	-	④⑤ ⑥	④発災施設概要 ⑤排気系統図 ⑥排気ダスト測定値グラフ	○	○	
16	住友金属鉱山株式会社 経営企画部グループ事業管理室技術センター	火災	○	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	④	-	④	④発災施設平面図	○	○
17	ニュークリア・デベロップメント株式会社	放出	○	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	○	-	④	-	④	④発災施設平面図	○	○
18	東北大学金属材料研究所附属 量子エネルギー材料科学国際研究センター	火災	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	-	④	④	④	④	④発災施設平面図 ⑤現場写真	○	○

## 良好事例

### 1 初期対応訓練

#### ① 事故対策本部活動

良好事例
・ 排気モニタ指示値の目安をまとめた一覧表を用いることにより、法令報告事象への該当の有無等、事象の状況について、速やかに把握していた。
・ 本部長への口頭による報告と併せて、「確認状況等報告シート」を用いて、報告を行っていた。
・ 所内アナウンスにおいて、来客に対して避難等の案内をしていた。また、外国人の従業員等に対して、英語によるアナウンスを実施していた。

#### ② 現場活動

良好事例
・ 現場での活動項目をまとめた表を用いて、活動内容の流れを確認するとともに、活動状況を表に記録していた。

#### ③ 広報活動

良好事例
・ 記者発表の実施に備え、記者発表要員が記者発表実施決定より前に、事業所を出発していた。
・ 記者発表要員に対して、タブレット端末、モバイルPCを活用し、活動状況（時系列）等の情報を付与していた。

### 2 通報連絡訓練

良好事例
・ FAX送信文の内容について、担当者間で読み合わせをすることにより、内容に対する認識の共有を行っていた。
・ 外部からの問合せに対して、記録票を作成し、問合せ及び回答内容を管理していた。